

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	18500	予防事務費(保健推進員)	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	予防班
基本施策				5		保健の充実	根拠法令	健康増進法	4	1	2	☒ 主な事業		
施策の展開				11		健康づくりの推進	戦略事業	53				☒ 国土強靱化地域計画		
施策の展開							戦略事業					☒ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返		各地区より選出された者が市より委嘱を受け、旭市保健推進員として組織活動を通じ、健康問題の発見、及び改善を目指し健康づくりの担い手として、様々な活動、研修を行う。 食生活改善推進員も兼ねており、組織としては、その上海匠地区（保健所管内）、県、国と全国規模の構成になっている。	
☐ 平成 年度～			
☒ 開始年度不詳			
☐ 期間限定複数年度			
平成 年度～			
平成 年度まで			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
本市の平均寿命は、国・県と比べ短く、生活習慣から起因する「がん」「心疾患」「脳血管疾患」の三大疾病も高い状況にある。保健推進員においても、生活習慣病予防や介護予防等の育成事業を実施し、保健予防事業の推進を図っている。		・保健推進員の任期は2年だが、続けて継続する人が少なく、2年後にはほぼ新メンバーで活動開始となるため、軌道にのるまで時間がかかる。	研修を通じて得た情報や経験（減塩、体操、健診のすすめ）を地区伝達の場合や集会時に地域住民に伝え、同感を得ている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.報酬費	2,228	保健推進員報酬(118人)	千円	2,541	2,546	2,277	2,228	2,470
2.消耗品費	130	研修会(中央・支部)食材料費等	千円	437	152	584	130	480
3.通送料及び駐車料	13	保健推進員視察研修道通送料	千円	13	26	21	13	37
4.報償金	30	保健推進員研修会講師謝礼	千円	30			30	
	0		千円					
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0		千円	2,991	2,754	2,882	2,401	2,987
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
			千円	2,991	2,754	2,882	2,401	2,987

前年度増減理由	隔年で委嘱替えがあり、保健推進員が使用する消耗品等が必要になるが、27年度は委嘱替えの年ではなかったため。
---------	---

従事職員数	常時	1人	最大	5人	×	9日	=	延べ	45人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	-----

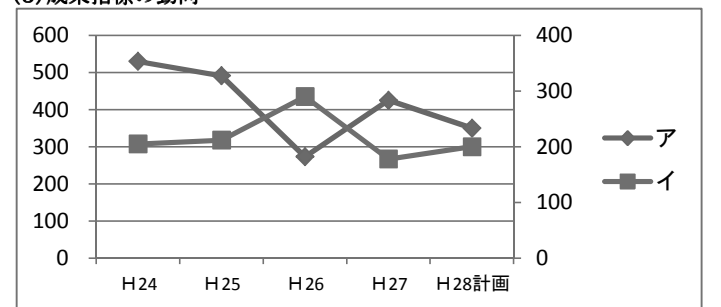
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・市主催の中央研修会・・・5回/年 (内 視察研修・・・1回) (出席者数 延425人) ・支部研修・・・7支部/年2回＝計14回実施。 (出席者数 延178人)		ア 中央研修会 実施回数	回	5	5	3	5	4
			イ 支部研修会 実施回数	回	14	14	21	14	14
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図 保健推進員 健康づくりに関する専門的知識を高める		ア 中央研修会延べ参加者数	人	530	491	273	425	350
	対象意図		イ 支部研修会延べ参加者数	人	205	212	290	178	200

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
	ほとんどない		上位 1/3
大きい		①	
普通	⑤	②	
		③	
小さい		④⑤	(4)
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ			数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下		24年度	25年度	26年度	27年度	28計画	
	支部研修会の実施回数減に伴い、参加者の減少。								成果動向	ア	109	△ 39	△ 218	152	△ 75
										イ	△ 10	7	78	△ 112	22
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()						